

第10回まつぎワークショッププログラム

■概要

日時：2008年3月30日（日）～4月1日（火）

場所：伊豆松崎町

会場：松崎町環境改善センター・会議室

宿舎：海浜荘

■プログラム

3月30日（日）

松崎町、海浜荘に集合

親睦会

3月31日（月）

<午前の部>9:00-12:10

第1セッション：研究発表<現代中央アジアにおける社会・文化の諸相>

小嶋祐輔（愛知大学大学院博士後期課程）

「中国・多文化主義言説におけるウイグル知識人の表象

—「和谐社会」のなかで「民族」の本質化を克服することは可能か—

増川智咲（東京大学大学院修士課程）

「タジキスタンにおける、コミュニティー主導教育管理情報システムの考察

—伝統社会と学校修復作業の関連性から—

梶浦岳（立正大学大学院博士後期課程）

「クルグズ共和国北部における個人の家畜飼育ネットワークと地域的特性
—アトバシ地区アクムズ村A家族を事例に一」

<午後の部>14:50-18:10

第2セッション：研究発表 《中央アジア史上の諸問題》

木村暁（東京大学大学院博士課程）

「ロシアによる征服前後のマー・ワラー・アンナフル（1860-70年代）
—シャフリサブズ、サマルカンド、ブハラ—」

イスマーイール・バフティヤール（白海提）（京都大学大学院博士課程）

「ホージャ・イスハーク・ワリーの聖者伝『心の光』 *Ḍiyā' al-qulūb*
—その構成と成立—」

諫早庸一（神戸大学大学院博士後期課程）

「ヒタイ暦は中央アジアの暦か？
—『イル・ハーン天文表』に記される中国暦に関する考察—」

4月1日（月）

<午前の部>9:00-12:20

第3セッション：「まつぎきワークショップ」10周年記念特別セッション
《「まつぎきワークショップ」が拓く世界：中央アジア学の新たな展開》

※本セッションはNIHUプログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点との共催

基調報告

小松久男（東京大学）

「中央ユーラシア史研究の展望」

報告

堀直（甲南大学）

「回疆経済の構造—農・牧・商の間からの視点—」

吉田世津子（四国学院大学）

「葬式の変容—北部クルグズ（キルギス）農村・

イスラームの人類学的動態研究に向けて—」

新免康（中央大学）

「新疆への漢族の移住とウルムチの歴史の変容」

日本中央アジア学会総会